

べにいとおどしにおうどうぐそく

紅糸威仁王胴具足

分類 / 武具・甲冑 数量 / 1

時代 / 室町 16世紀

寸法 / 外鉢高14.0 鉢径25.0cm

前胴丈35.0cm

兜刻銘「義次」。村井長頼所用。兜は鉄錆地六十二間筋兜、胴は叩塗に金箔押し仁王胴二枚胴を紅糸で威した華やかなものである。肋骨と乳房を打ち出すなど、裸形の独特な表現が滑稽にさえ見える。実用面を損なわない範囲で奇抜な意匠や色彩を用い、群衆の注意を引こうとして作られたものと考えられるが、製作には高度な技術を要している。加賀藩老臣村井氏(16,500石余)11代長在の伝書によると、この具足は家祖長頼が、豊臣秀吉生え抜きの家臣加藤遠江守光泰から拝領したものである。



(資料番号:H 1-4 43)